

# どきん

2022年11月発行



街を歩けばクリスマスの音楽が流れ、街中でイルミネーションがきらめく。そんな華やかな季節が目前までやってきました。今年はどうなクリスマスになるのでしょうかね。今年も元郷中図書委員会プレゼント、クリスマスキャンペーンが始まります。

12月中は、いつもより多い5冊まで貸し出し可能です。  
そして、好評だったあの企画もやってきます！



## 特別企画！福袋ならぬ Book 袋やります！！袋の中には、図書委員の

メンバーが厳選した本、2冊が入っています。どんな本が入っているかは、開けてみてのお楽しみ♪表にあるコメントカードをみて、面白そうだなと思ったら借りてみてください。BGMや飾りつけもクリスマス仕様に工夫して、図書委員一同、みなさまのお越しをお待ちしております。



## ～図書委員おすすめ本紹介～

### ① 『日向丘中学校カウンセラー室』 まはら 三桃/著

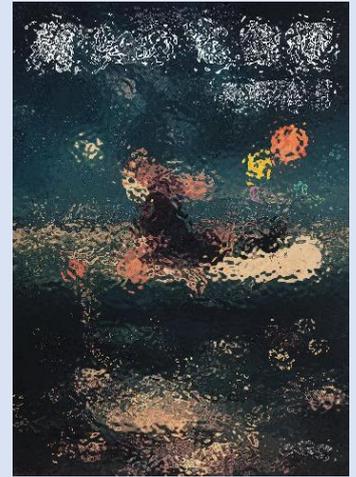
この本はカウンセラーの綾が、別館の一階の一番奥にあるカウンセラー室というところで生徒達の悩みを聞いて相談に乗るという話です。

この話の見どころは他の生徒とは一味違う生徒達の特長です。ちょっとした謎解きもあり、本のページ数もほかの本と比べて少ないので比較的読みやすいです。ぜひ読んでみてください。



## ② 『魔女の宅急便』 角野 栄子/著

『ひとり立ち』する為に初めての街にやって来た 13 歳の魔女キキと相棒の黒猫のジジ。彼女が、懸命に考えて自立する為始めた仕事はほうきで空を飛んで荷物を届ける宅急便屋さんでした。ミスをして落ち込んだりしながらも元気に生きるキキは、荷物を運びながら、大事なことを発見していく話です。キキがどのようにして荷物を運ぶのかを知ることができるので面白いです。ぜひ図書室に来て読んでください。



## ③ 『麦本三步の好きなもの』 住野 よる/著

この本は、住野よるの作品の中で最もキュートな主人公、麦本三步のたくさんの「好きなもの」についてのお話です。麦本三步は、歩くことが好きで、ワンポイントが好きで、ブルボンが好きで、今日が好きな、韻を踏もうとする大学の図書館のスタッフです。そんな何もない日常に幸せを感じながら生きる彼女の話を読んでみると、自然と気持ちが明るくなれますし、物事を前向きに考えることができます。

心が疲れているときや勉強の合間など、少し休憩したいときにぜひ、この本を読んで、クスクス笑ったり、うるっとしたり、癒されたりして、心を軽くしてみてください。



## ④ 『子ども食堂 かみふうせん』 齋藤 飛鳥/著

皆さん「子ども食堂」を知っていますか？「子ども食堂」とは、子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂の事です。

この物語はそんな「子ども食堂」を舞台として、そこで出会う個性的で孤独な4人の小学生、麻耶、闘志、悠乃、一平たちの葛藤や成長を描いた話です。

僕は、麻耶の事をいじめていた闘志が「子ども食堂かみふうせん」に行き、麻耶をいじめていたのはお父さんとお母さんのえこひいきに対する不満を、麻耶にぶつけていたんだと気づきいじめをやめるシーンが、自分が間違っていたことに気づきそれをすぐに実行できる闘志がすごいと感じました。

読みやすい本だと思うのでぜひ手に取って読んでくれると嬉しいです。

